

ありまふじ里山だより

Vol.11

『ありまふじ里山だより』では、棚田里山エリアの自然の様子や里山保全に向けた取り組みについてご紹介します。Vol. 11はありまふじ里守の会の活動の様子と里山で見つかった動物の寝床についてお届けします。



里守の会、活動日！

この日はありまふじ里守の会の活動日でした。暑さも少しやわらぎ、体を動かすにはいい季節になってきました。過去最強ともいわれる台風が近づいていることもあり、風による落枝に注意しながらの活動です。

これまでの続きで、里山散策路の未整備区間を少しずつ整備していきます。歩きやすいよう下草を刈り、倒木を処理しました。

別の場所では背丈ほどに伸びたササを刈り、木に巻きついたツルを切っていきます。

今はササが鬱蒼と繁って、里山散策路から棚田は望めませんが、やがては眼下に棚田が広がる景色になるよう引き続き作業を進めていきます。

動物の寝床

里山散策路のすぐそば、斜面を登りきった平坦で開けたところに何やら不自然に土がむき出しになったところが2箇所。

地面を手足で引っかくように掘った跡があり、まわりの葉っぱは土をかぶっています。辺りにはシカ糞も発見。果たしてこれはシカの寝床なのでしょうか？